

岩倉南小学校 学校経営方針(詳細版)

京都市学校教育の重点～目指す子ども像～

『伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども』

3つの姿

- ① 広い視野と豊かな感性を持ち、よりよい人生や社会を創造できる
- ② 様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たすことができる
- ③ 多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となることができる

5つの柱

- ① 「いのち」 ② 「よりそい」 ③ 「つとめ」 ④ 「ひろがり」 ⑤ 「つながり」

岩倉南小学校教育目標

ともに学び合い 心やさしく たくましく生きる子の育成
～笑顔 かがやく 岩倉南の子～

- 岩倉南のど真ん中！教職員が共通して感じる児童の課題です。学校は児童と指導者がともに「話し合い、考え方、学び合い、分かち合う」ところであり、一方通行の「教えるところ」・「教わるところ」ではありません。また、指導者が持っている「答え」に導く授業ではなく、児童自らが問い合わせを設定しその解決のために学ぶ「主体的・対話的で深い学びの実現」をめざす言葉です。そして、それらは「学習自立」が元となります。学校の存在意義でもあります。
- 「やさしさと思いやり」は、集団生活において柱となる姿勢です。安心安全な場としての学校には欠かせません。道徳教育の充実が心豊かな児童を育むと考えます。
- 「たくましく」は、健康であってこそです。小学校では心と体が著しく成長します。子どもたちの命を守りきるため、私たちの使命は大きいです。コロナ禍の中で、感染症対策にも気をつけながら、子どもたちの健やかな成長を支援していくかなければなりません。

「校歌に込められた思いを表しています。」

「京都市立岩倉南小学校校歌」

岩倉南小学校 校歌

【作詞】吉村 義夫 【作曲】船越 修

三 正しく強く手をにぎり	歴史さかえる岩倉の 緑にはえる会議場	われらの岩倉南校	二 高き理想を ともに学ばん	光ががやく洛北の のぞみあふれる学びやで	われらの岩倉南校	一 そびえるひえい ともに育たん	のぼる朝日に色はえて 心やさしくたくましく	あおぎみて
--------------	-----------------------	----------	-------------------	-------------------------	----------	---------------------	--------------------------	-------

われらの岩倉南校

<めざす子ども像>

1. 思いやり、たがいの良さを認め合う子（徳）
2. 自分で考え、行動する子（知）
3. 命を大切にし、心と体をきたえる子（体）

（小中一貫構想図より）

《目指す子ども像》スローガン：一生懸命はカッコイイ

- 主体的に学習に取り組み、将来に必要な学力を身に付ける子
- きまりを守り、豊かな心で互いの良さを認め合い、高め合う子
- 自らの安全・健康を管理し、たくましく生きる子
- 自分の将来に希望をもち、明るく生きる子

<育成をめざす資質・能力> 「学習自立力」

一人で学習できる力を持つ。

これさえあれば、子どもたちの心も知恵も判断力も全て、右上がりになり、よりよい生き方をしていく

めざす学校像

- 子どもが毎日楽しく通える学校～「期待の登校」「満足の下校」～

めざす教職員像

- 子ども一人一人を大切にする教職員
- 子どもの手本となる教職員

☆基本方針

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたち。そんな子どもたちが、豊かに、また、たくましく生き抜いていける「生きる力」の育成をめざす。そのためには、今年も、学校教育の基本となる**豊かな心（徳）**・**確かな学力（知）**・**健やかな体（体）**の調和のとれた育成に向けて、それぞれ目標を掲げ、具現化に努める。

<教育目標実現に向けた取組の重点> (10 カ条)

I. 思いやり、たがいの良さを認め合う子（徳）

①学校生活における規範意識の向上を目指して、生徒指導の徹底を図る。

- ・人と人のつながりを大切にする。…あいさつの徹底

(あいてを見て、いつも、さきに、つづけて)

- ・いじめ防止等基本方針に基づき、「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」を進め、「いじめは絶対に許されない人権侵害である」ことを理解させる。

「自他を大切にする態度」の育成

- ・学校のきまり、約束、時間、学習ルールを守る。…児童会活動の充実
- ・生徒指導の三機能「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的人間関係」を育成する→授業の中で<子どもに出番を与える>
- ・スクールカウンセラーとの連携、クラスマネジメントシートの活用

未然に防ぐ

②人権教育の充実により、支え合い高まり合う集団づくりを行う。

教師が一人一人の良さを的確に『見抜き』、それを『認め』『ほめ』『伸ばす』。

- ・ノートや作品へのコメント記入→信頼関係を構築。「心の居場所」づくり
- ・たてわり活動での交流、「みんなの日」の充実
- ・障害についての理解と認識を深め、互いを尊重し、共に成長し合う教育の充実

「公共の精神に基づく態度」の育成

③道徳教育の実践を推進することにより、ともによりよく生きようとする態度を育てる。…いじめの防止につながるという意識をもって取り組む

- ・主として自分自身に関すること、主として他の人との関わりに関するこの視点で。
- ・意図的・計画的な指導 …公共心や公徳心、生命を尊重する心、感謝する心の育成
- ・道徳的価値の自覚を深める指導の充実 …児童自ら高まろうとする児童会活動の充実
- ・毛利豊和先生の研修、「特別の教科 道徳」の授業を通して

④環境を整え、豊かな心情を育む。

- ・気持ちのよいあいさつ、正しい言葉遣い、ふわふわ言葉とちくちく言葉、温かい言葉かけ、思いや感動を言葉で表現する活動の充実、栽培活動の推進

やさしさと思いやり

社会性の育成

2. 自ら考え、行動する子（知）

⑤ 児童の学力向上をめざして、授業力向上を図る。

- 一人一人の子どもの学力を最大限に伸ばす指導の充実
- 校内研究を核として、各教科・領域における言語活動の充実を図る。
 - ・志賀都子先生の研修、「国語科」毛利豊和先生の研修「特別の教科 道徳」
 - ・教科の枠を超えて→「主体的・対話的で深い学び」「思考の見取り」
 - ・子ども主体の授業へ→子どもだけの学習時間の保障（子ども同士で教え合う。子どもに任せる時間）＊教師が話す時間を徹底的に減らす。

研究主題

「自ら考え判断し、行動できる子」の育成 ～学習自立力の育成を通して～

- ・学びの質を高めていく→習得した知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身に付けることができるようとする。問題解決的な学習や探究活動の充実。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現→単元等のまとめを見通した学び
各教科の特質に応じた「見方・考え方」の理解
 - ・学びの約束やルールを大切にする。→意欲的に学ぶ学習集団づくり
 - ・「わかる・できる喜びと学ぶ楽しさ」を体感できる授業をめざす。
→ 個に応じた授業の工夫、指導方法や指導体制の工夫改善
 - ・どの教科においても、毎時間必ず「学習課題（めあて・目標）」を提示し、それに応じた「まとめ」と「振り返り」を行う。

◎LD等通級指導教室の活用

一人一人の子どもを大切に！

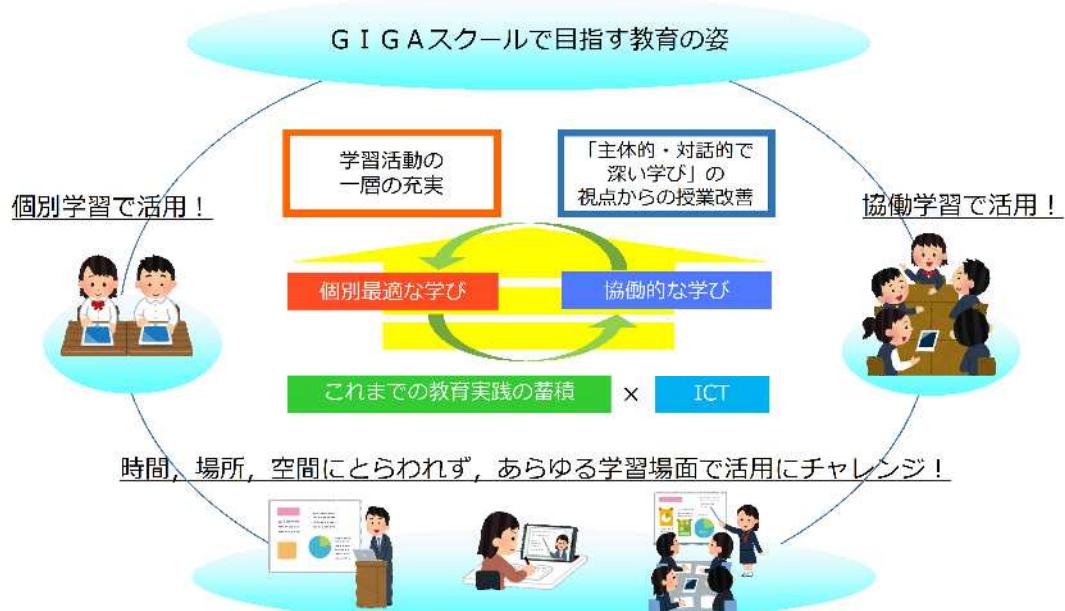
学習意欲を高める授業を通して、自ら学びに向かう力を育む

学習自立力

ねらいにぶれず

GIGAスクール構想の実現（充実期）

GIGAスクールで目指す教育の姿



- 協力指導体制の充実（3～6年、担任で教科振り分け、音楽、理科など）
 - 教師の専門性を生かし、基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用を図る。
- 総合的な学習の時間の充実（学校運営協議会企画推進委員会の活用）

探究の過程を重視する。（生き方探究パスポート）
探究的な学習が何度もスパイラルする。

- 実践的な英語力の育成（5・6年生の外国語科・3・4年生の外国語活動）
 - ・言語活動の充実→・1・2年15H 3・4年35H 5・6年70H
 - ・英語に慣れ親しむ環境づくり（イングリッシュシャワー）
 - ・低学年での英語を使ったチャンツやゲーム
- 道徳性を高める道徳教育の充実を図る
 - ・「特別の教科 道徳」教科としての意識→35時間の積み重ね。（えがおファイル）
 - ・教科書活用は低19時間、中20時間、高22時間が最低基準・学年末記述評価
 - ・自作教材の開発

⑥ 図書館活用教育の推進により、読書活動の充実を図る。

- ・朝読書、全校一斉読書などの取組の充実
- ・休み時間の図書室開放 … 行列のできる図書室（学習・情報センター、読書センターとしての活性化、調べ学習の充実）
- ・岩倉図書館との連携 … ブックトーク、関連図書の貸出
- ・PTA図書ボランティアの協力 … 「読み聞かせの会」、「ブックポケット」

⑦ 家庭での自学自習の習慣をつける

- ・自主学習ノートの活用
- ・家庭との連携→「自学自習のすすめ」

学習自立力

一生懸命はかっこいい。

主体性の育成

みなみっ子のめあて

人の話をしっかりと聞き、よく考えよう

思考力

☆話し手の方を見て、おへそを向けて、うなずきながら聞く。

自分の考え方や思いを、分かりやすくつたえよう

☆目と目を合わせて、聞きやすい音量と速さ。

表現力

当たり前のことを当たり前にしよう

☆あいさつ、ろう下を歩く、そうじ、名札着用。

判断・活用力

3. 命を大切にし、心と体をきたえる子（体）

⑧ 安心・安全第一の学校づくりをめざした取組を推進する。

- ・防ぐことのできる事故をなくすため、さまざまな危険から自分を守るための知識と判断力が身に付くよう安全教育の取組を推進する。 **安全実地訓練**（教職員研修）
- ・学校教育全体を通して、防災教育を展開するとともに、地域防災の拠点としての学校の在り方や地域コミュニティの形成について考える。
- ・環境整備 → 安全点検、素早い対応、整理整頓、清掃活動の充実

未然に防ぐ

⑨ 運動やスポーツの実践を通して、楽しさや喜び、達成感・成就感を味わう。

- ・体育学習の充実 → 体を動かすことが、情緒面や知的な発達を促進し、コミュニケーション能力や論理的思考力を育む、
- ・学習したことを実生活に生かす→遊びの充実
- ・運動能力、体力の向上を図る。→遊び場の工夫（ジャンプアッププログラム継承）

⑩ 保健教育、食に関する指導の充実により、望ましい生活習慣や食習慣の確立と健やかな心と体の育成を図る。（養護教諭・栄養教諭との連携）

- ・自分の健康を自分で維持したり、自分の身を自分で守ったりする意識・態度の育成
… むし歯の予防と治療、命の大切さを学ぶ学習
- ・食物アレルギーのある児童の学校生活を安心安全なものにするため、保護者との連携を密にしながら、校内組織の整備を進める。→食物アレルギー対応委員会
- ・健康観察、「もりもりカレンダー」による生活点検の活用
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」の実践

*感染予防対策に努め、新しい生活様式の定着を図る「ウイズコロナ」

→毎日の健康観察票確認、手洗い、マスク、換気、ソーシャルディスタンスの徹底